



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 9月園だより

令和2年8月25日
園長 新井智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.mina-to-ky.ed.jp/>

3歳児 水遊び



4歳児 絵の具遊び



5歳児 おまつりごっこ



Starting strong 『人生の始まりこそ力強く』



園長 新井智子

暑くて短い「特別な夏」の夏休みが終わりました。そして、例年とは、異なる2学期が始まりました。コロナ禍は収束せず、新しい生活様式はまだ手探りの中、それでも子どもたちの笑顔に出会うと「さあ、始まった！頑張ろう！」と前向きな気持ちになり勇気が湧いてきます。どの学年にとっても2学期は、じっくりと遊びに取り組み、経験を広げたり深めたりする充実の時です。日々の遊びや秋の様々な行事の中に、子どもが育つ経験がたくさん散りばめられているのが2学期です。思った遊びが実現されていく喜び、友達に認められた有用感、物事を成し遂げた達成感など、子どもたちの自信につながる大事な感情が遊びや友達との関わりの中で生まれるよう進めてまいります。

さて、OECD(経済協力開発機構)は、2018年(つまり2年前)に「エデュケーション 2030」という2030年に向けた教育の枠組みを公表しました。その時は、漠然とその大切さを認識していました。その内容は、「10年後は激動、不確実、複雑、曖昧の世の中になっており、そこで生き抜くためには、『新たな価値を創造する力ー適応力・創造力・好奇心・新しいものに対して受け入れていくことができるオープンな意識ー』『対立やジレンマを克服する力ー矛盾、相いれない考えがあったとしてもお互いのつながりや関連性を考慮しながら総合的に考えて行動していく力ー』『責任ある行動をとる力ー責任感・問題解決・適応力・自己調整できる力ー』が新しい時代に必要」ということです。

今現在のコロナ禍の状況は、誰もが予測しなかった不確実で刻々と変わる情勢です。誰もが不安感をもち、未解の解決策に翻弄し、新しい生活様式を創造していくさなかにいるといえましょう。その中において、「エデュケーション 2030」で予測していることは、前倒しする形で具体化し世の中に現れ、私たちに3つの力の必要性を突き付けたような気がします。さらに、その3つの力は、幼児期の基礎を培う時期こそ重要と、Starting strong 『人生の始まりこそ力強く』の言葉で提案しています。私たち教職員は、不確実な時だからこそ、誠実に着実に心強く教育活動に取り組みたいと思います。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 園生活のリズムを取り戻しながら、自分のしたい遊びを見つけて繰り返し楽しむ。
- 教師や友達と一緒に伸び伸びと体を動かす心地よさを味わう。

4歳児

- 遊びや学級のみなでする活動に自分から取り組もうとし、友達と関わりながら活動する楽しさを味わう。
- 遊びの中でいろいろな動きをしたり、思い切り体を動かしたりすることを楽しむ。
- 草花や木の実、虫などに関心をもち、生活に取り入れながら遊ぶ。

5歳児

- 友達と思いや考えを出し合い、受け止め合いながら遊びや活動を進めていく楽しさを味わう。
- 様々な動きに挑戦したりルールのある遊びをしたりする中で、自分の力を発揮しながら友達との関わりを楽しむ。
- 身近な自然の変化に気づき、草花や虫、栽培物などに興味をもって関わり、遊びに取り入れる。

